

課程博士の学位授与申請に係わる審査報告書

学 籍 番 号 12DM1401 (経営学研究科経営学研究専攻)

氏 名 (本籍) 猿爪 雅治 (日本)

学 位 の 種 類 博士 (経営学)

報 告 番 号 甲 第 92 号

学位授与年月日 平成 29 年 3 月 20 日

学位授与の要件 学位規則第 4 条第 1 項該当

論 文 題 目 「わが国の男女雇用にもとづく地域生産水準に関する考察」

審 査 委 員 主査 教 授 神頭 広好

 副査 教 授 富増 和彦

 副査 教 授 玉置 光司

2017 年 (平成 29 年) 2 月 10 日
愛知大学大学院経営学研究科

猿爪さんの論文本審査委員会において、まず論文要旨の説明がパワーポイントによってなされた。その内容は、近年までの女性労働力率が上昇しており、国の女性の活躍を促進するような法整備もなされてきており、このような流れにおいて、女性労働の必要性および社会進出について論じる研究は、比較的多く見られるが、男性と女性の雇用における地域の生産水準への影響について分析されたものは少ない。そこで本論文では経済学で一般に使われているいくつかの生産関数を用いて適合性の分析を試みている。ここで用いたデータは、収集可能性を考慮してリーマンショック前後の 2002 年、2007 年および 2012 年のものである。ここで推計された生産関数の適合度は低かったが、とりわけ男女別管理・非管理地域生産モデルでは、女性の場合は女性の管理職が地域の生産に影響を与えるが、全体としては男性の管理職が地域の生産に強く影響していることなどが分析されている。

ただし、注意すべき点として本論文の中で推計された関数における「有意」という使い分けについては、各モデルに関する仮定の検証というよりは変数のいくつかの組み合わせから SPSS の変数減少法を用いて最も当てはまり具合が良い関数を選択していることを踏まえて「有意」ということばが全体的に用いられている。今後は、このことに留意して研究をすすめる必要がある。

また、改良点としては、地域学会におけるコメントを踏まえて、女性管理者/女性雇用比影響モデルでは地域の出生率を加えて推計を行っている。そこでは出生率が女性雇用にマイナスに影響しており、出生率の高い福島県および福井県などが適合していることなどが示された。

さらに、空間モデルに応用すると地域の経済を引っ張る力が男性と女性の雇用力に依存して、男女の賃金差が抵抗となっていることにもとづいて、これを「男女雇用相互作用指数」として地域に応用している。ここでは大都市圏において高い指数の値であった。一方抵抗を男女の管理職の差とした場合は、青森や高知が比較的高い指数を示した。

最後に地域の企業ポテンシャルは管理者当たりの地域生産が東京の集積に比例して、東京からの距離に反比例するとして、これを推計すると、年々外部効果としての東京の集積力が高まっていることなどが説明されている。

本論文の総括としては、若干用語の説明にかける点やモデルの仮説説明が足りないことなどが見られるが、男女雇用について構築された生産関数および重力モデルを応用した空間モデルの研究は、過去においてほとんどなされておらず、今後期待される点が多いこと。さらに将来、上記の内容における研究を発表する際には、分かりやすく説明することを心がけ、表現に注意する必要があることなどが審査員から指摘された。

最終的には、本審査委員会では博士の学位に相応しい論文であることが確認された。